

4 - 2 伊豆半島付近の地震活動 (1983年6月~11月)

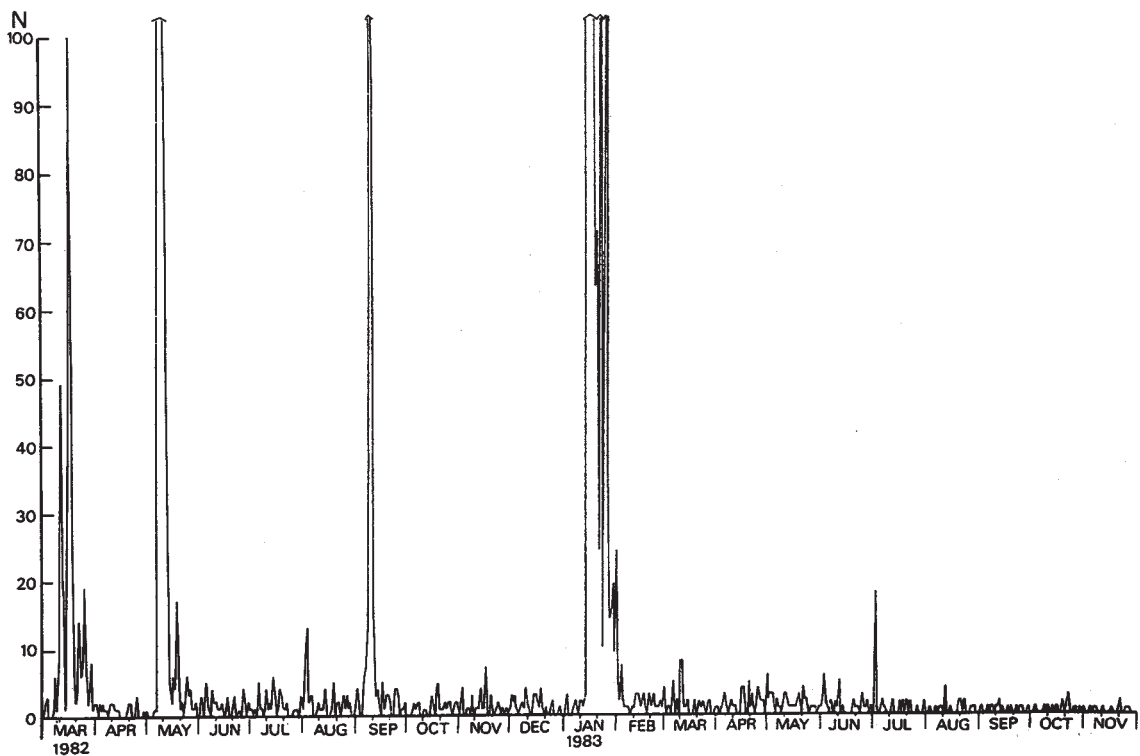
Seismic Activity in and near the Izu Peninsula (June - November, 1983)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division,
Japan Meteorological Agency

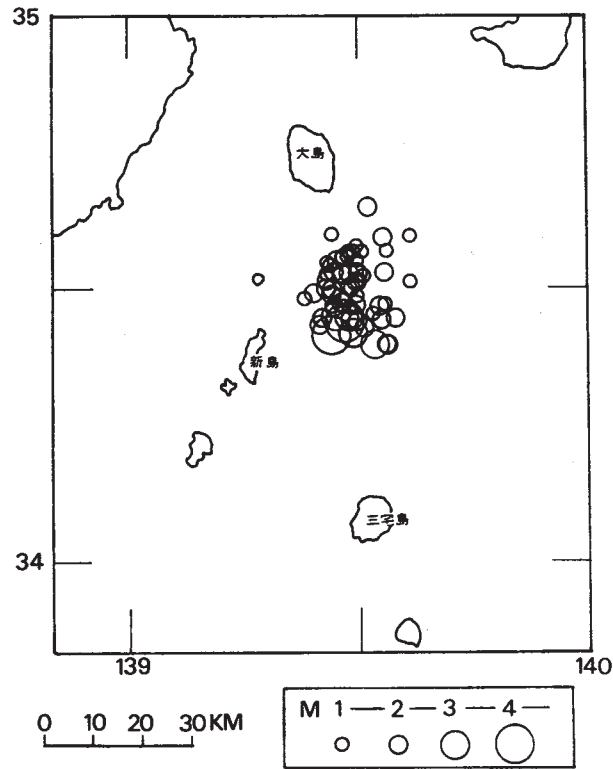
第1図は伊東市鎌田におけるS - P6.0秒以下の地震の日別回数である。7月2日に伊豆大島付近で有感地震5回を含む地震活動があり、地震回数が一時的にやや多くなったが、その後は非常に少なくなっている。

これに対し、8月31日から新島の北東沖で地震が群発し9月10日頃まで続いた。第2図はこれらの地震の震央分布で、第3図は時間別および日別地震回数である。今回の地震活動では、震源の深さはいずれも浅く20 km以下であった。また第3図の時間別回数に示すように間欠的な傾向がみられた。一連の地震のなかで最大は8月31日に発生したマグニチュード4.2の2つの地震でいずれも新島、大島などで有感であった。



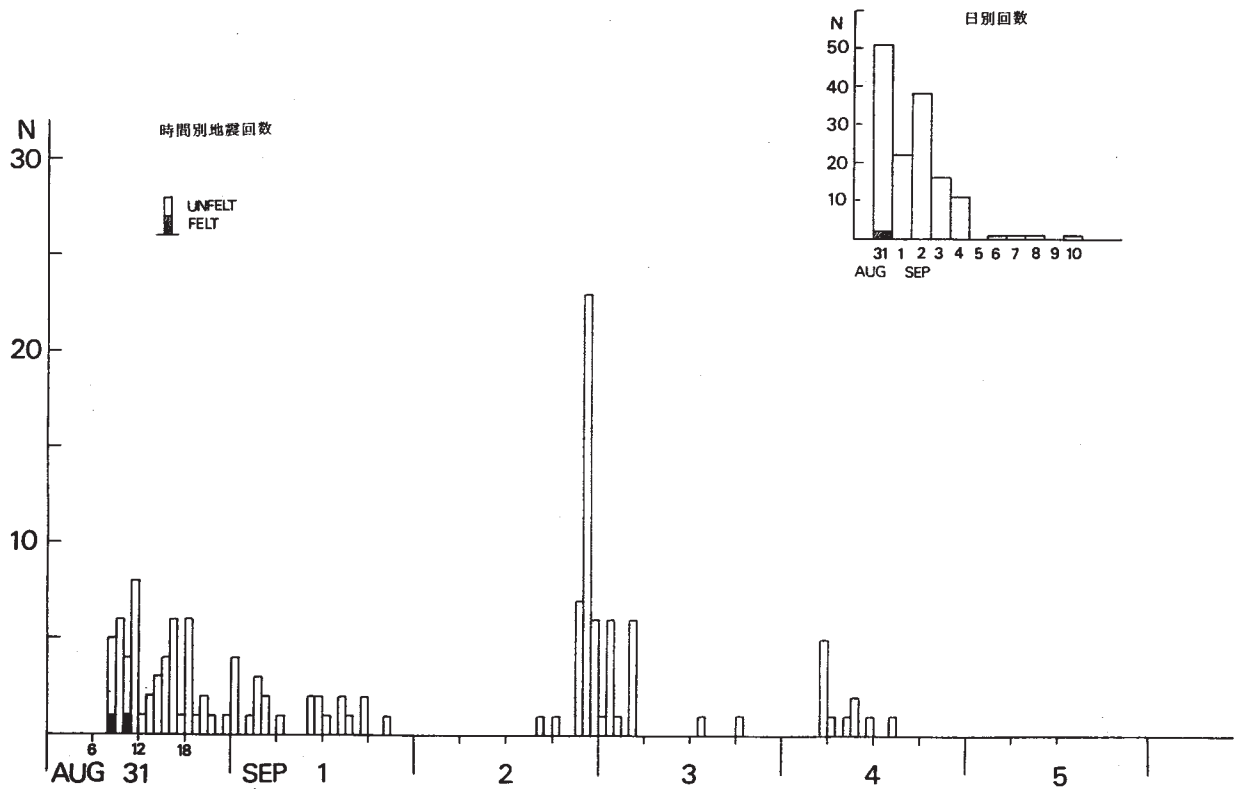
第1図 伊東市鎌田における日別地震回数 (S - P ≤ 6.0 秒)

Fig. 1 Daily number of earthquakes at Kamata (P - S ≤ 6.0 sec).



第2図 1983年8月～9月新島近海の地震の震央分布(8月31日～9月10日)

Fig. 2 Distribution of epicenters of earthquakes near Niijima (August 31 - September 10, 1983).



第3図 1983年8月～9月新島近海の地震の時間別・日別回数

Fig. 3 Hourly and daily number of earthquakes near Niijima, August - September, 1983.